

広報



かわにし

(毎月10日発行)

平成6年 1/10 No.425

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 1月1日現在 —	
男	4,338 (+1)
女	4,417 (+2)
計	8,755 (+3)
世帯数	2,224 (+1)
() は 前 月 比 較	



迎春

大しめ縄を奉納

中仙田老人クラブしめ縄班(代表小林邦治さん・82歳、小林忠臣さん・63歳)では、20年も前から毎年、同地域にある「渋海神社」と「諏訪神社」に、大しめ縄を奉納しています。12月13日、仙田コミュニティセンターで、この大しめ縄づくりの作業が実施され、長さ約180cm・太さ約50cmというりっぱな大しめ縄を完成させました。

センター内には、多くの家庭用しめ縄が並べられ、その中には、宝船の作品も見かけられました。

(休日救急医は、10ページに掲載しました)

議会報告

思いきった文化会館を望む

羽鳥 力 夫 議員

- ① 文化会館建設の基本的取り組みについての考えは
- ② 幼稚園の存続と、南原保育園の改築時期と見通しを

南 雲 町長

- ① 文化会館建設委員会から答申された建設構想は、町民の学習のための拠点づくりを優先課題とし、文化ホールを兼ね備えた施設というのが、現段階での集約された姿である。
- 南雲助役をキャップにした行政内部の関係部署を網羅した庁内プロジェクトチームの設置や、今後計画されるであろう第二次の建設委員会の委嘱を踏まえ、総合的な観点、近隣市町村の動向なども見極めながら検討して

十二月十七日から二十二日まで、六日間の会期で第八回町議会定例会が開かれました。

「七日は、七人の議員による一般質問のほか、平成五年度水道事業会計補正予算（専決）が承認され、「議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」ほか一件の条例一部改正と、平成

五年度一般会計補正予算を原案どおり可決しました。また、「学校五日制の早期完全実施に関する意見書の提出を求める請願」が、所管の常任委員会に付託されました。

「川西町立幼稚園設置条例」の廃

止条例を、国民健康保険特別会計補正予算ほか六件の補正予算を原案どおり可決。続いて特環公共下水道管路施設工事（二工区・合わせて一億二千三百五十万円）を承認しました。

また、去る十七日に所管の常任委員会に付託されていた同請願は、常任委員長長の報告通り不

採択となりました。

さらに、「議会議規則」の一部改正規則、「医療と看護の充実を求める国への意見書」ほか一件の意見書が原案どおり可決されました。

十七日に実施された一般質問の概要を中心にお知らせします。（質問順に掲載）

まいりたい。

② 川西幼稚園については、平成五年度限りで廃止をしたい。幼児・児童を主体とした施設の跡利用を考えている。具体的にはまだ煮詰まっていないので、早

急にこの対策も立てていきたい。

南原保育園は、町としては平成七年度に新築をしたいということで活動を起している。しかし、町内の各保育園の現状を見ると、南原保育園の新築とい

うことだけで済むかどうか、将来にわたっての課題でもある。

今後の福祉施設整備の全体の中において、できる限り早い年次において保育園の将来像を見極めていきたい。

節黒城跡と中子台地の開発を

上 村 晴 夫 議員

南 雲 町長

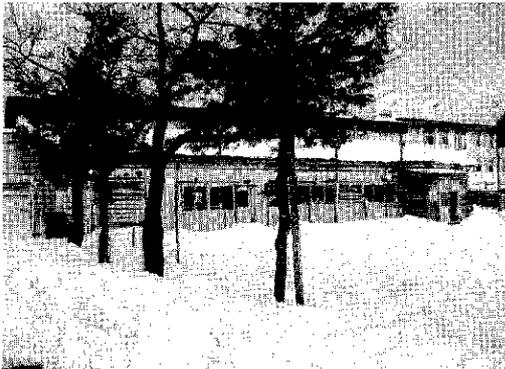
- ① 過疎対策と人材育成に対する取り組みを伺いたい
- ② 節黒城跡と中子台地の開発について
- (1) 節黒城跡・中子台地の開発構想と、両施設を結ぶ道路開発の実現は。
- (2) 節黒城跡の町文化財としての位置付けや、その他町の資源を生かしたイメージアップの考えは。
- (3) 周辺地域と連携し、町の活性化を図ってはどうか。

- ① 「いかにして若者の定着を図るか」ということで、新規卒業者の地元雇用を図るため、企業ガイドブックの製作などをして積極的に地域への就職を奨励、定住化に努めている。また、交通アクセスの整備に努め、企業誘致の働きかけを継続して進めている。地元企業の情報提供の範囲を広げるようにして、少しでも多くの若者が定住できる環境づくりを進めてまいりたい。
- 一方、人材育成に対する取り

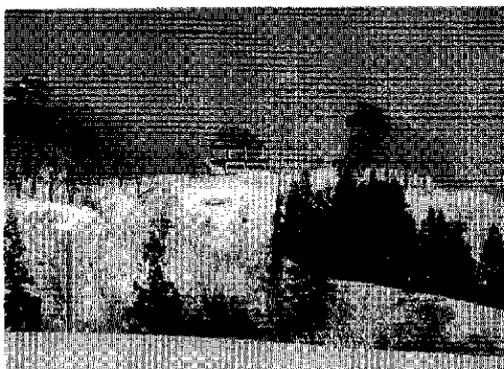
組みとしては、奨学金貸付事業、海外研修補助事業、若者交流事業など、各種の人材育成事業を展開してきた。

また、農業面では、オペレーターなどの後継継が最大の課題であり、労働時間の短縮や待遇の問題などがある。

ふれあいかわにし塾、かわに



昭和四十八年四月に開設され、二十一年目を迎えた南原保育園



中子台地から眺めた節黒城跡展望台

し21委員会などの答申・提言に
対して精一杯の対応・努力をし
ていきたい。

② (1)(2) 中子については、レス
トハウスを来年度事業として考
えている。また、七年度には、
ショートゴルフコースの造成を
主に、八年度以降、中子台地と
節黒城とを結ぶ連絡道や、小山
屋風別荘・オートキャンプ場を
配して、節黒城のキャンプ場周
辺の整備をしたい。

目指せホテルの里づくり

金子澄 男議員

① 町全域をホテルの里として売
り出し、アピールする考えはな
いか
② トンボ公園を親水事業で施設
し、都会の人たちの誘客が図れ
ないか。そのため、松葉荘付近
や、いくつかの適地をトンボ公
園として整備してはどうか

南 雲町長

① 本年度製作をしている町の観
光パンフレットの中に盛り込む
などして、宣伝に心掛けている
ところである。

図れるように考えてまいりたい。
(3) 広域的での対応は時代の要請
であり、国・県の補助制度も広
域事業に対するものが多くなっ
てきている。また、国・県でも
いま機能している広域事業を合
併させ、行政機能を持たせた複
合事務組合として再編すべく、
広域の圏域見直しを積極的に指
導している。

そうした広域的な検討をとら
えながら、情報交換を重ね、よ
りよい町づくりに努めてまいり
たい。

最近、県下ではホテル鑑賞会
などを中心に、ホテル川やホタ
ル公園などの造成など、ホテル
にちなんだ取り組みをする市町
村が多くなってきており、連絡
協議会を発足させたいという動
きも出ていることから、県内の
ホテル連絡協議会が発足されれ
ば、そうした中で検討をしてま
いりたい。

② 松葉荘周辺には、十三種類も
のトンボが生息しており、トン
ボの種類の多様さは、そのまま
地域の自然環境の豊かさを示す
バロメーターでもある。しよ
うぶ園などの施設整備や維持管理

にあたっては、自然環境の破壊
にならないよう配慮して、訪れ
る人たちに喜ばれる施設にして
まいりたい。

その他の地域でのトンボ公園
づくりについては、そこに住む
地域の人たちが、トンボがいる
というほんのわずかなことから
生活の楽しさを感じることで
きるような気持ちを持つことが
肝要かと思う。

トンボがいるということ自体
然の豊かさを誇りに感じ、その
生息を保護するといった熱意が
あつてこそ、トンボ公園づくり
が育っていくものだろうと考え
ている。

町としても、トンボの生息実



川西自然ウォッチング・ホテル
観賞コース(5・6・30 坪山)

態調査などを基にして、自然の
豊かさをPRできるような観光

パンフレットの製作などについ
て検討してまいりたい。

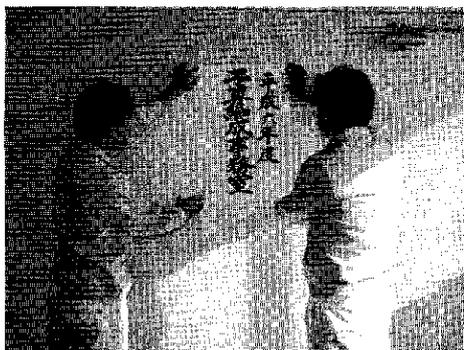
懸念される交付税の大幅減額

清水 進 議員

国の新年度予算で、地方交付
税減額配分の報道がされている。
減額配分の事態を予測し、町に
おける新年度予算編成に当たっ
ての見通しと、大幅減額された
場合の対応はいかに

南 雲町長

現在、自治・大蔵両省が折衝
中であり、明確な見通しを立て
る段階には至っていない。しか
し、景気低迷の影響などで、地
方税、地方交付税が今年度を下
回り地方財政に相当規模の財源
不足が生じるのは必至の情勢で
ある。
なお、交付税が減額した場合、
その財源の総額確保については
地方債の積極活用を、また、財
源不足に対する補てん策として



活性化センターに設けられた予算編成
事務室(5.12.24)

温泉湧出の夢に挑戦

押木 貢 議員

① 町造林事業の問題点と今後の
方向について

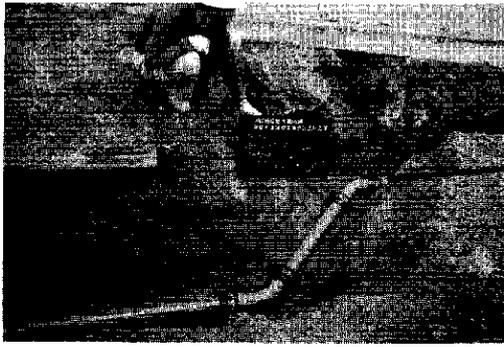
(1) 森林火災に対する防災対策
は適切に実施されているか。
(2) ごみの不法投棄に歯止めを
かける対策はないのか。

② 西山開発で期待を寄せていた温泉発掘。その開発が宙に浮いてしまった今日、町おこしの一端を重ねてきた「町に温泉を」という願いを現実させてほしいがどうか

南 雲町長

①(2) 投棄者が判明した場合には速やかに後始末していただくことが可能なのであるが、大多数はこのどなたなのか、つかめないという状況にある。

ごみの不法投棄防止対策も、立看板や車止柵を設け注意を促すことが必要であるし、職員や森林巡視員が山を巡って監視し、注意を呼び掛け指導していかねばならない。



平成二年、上水道施設が整備された川辺地区の工事のようす

しかし、最終的には地域の皆様に訴えていくという反復を繰り返すということが第一義的に考えられる。

② 温泉掘削のリスクの大きさ、外部からの財政支援がないという事などから、慎重な返事を繰り返して申し上げてきた。しかし、ある程度の財政基盤が確立されたものと判断しており、住民要望が高いようでもあるので、皆さんのご支援が得られれば、積極的に取り組んでみたい。

そのため、六年度予算の中に、掘削を前提として調査費を計上させていただきたいと考えておるし、調査結果を踏まえて、六年度内に掘削の用意にかかるということも実行しなければならぬと考えている。

上水道未設置集落の整備を

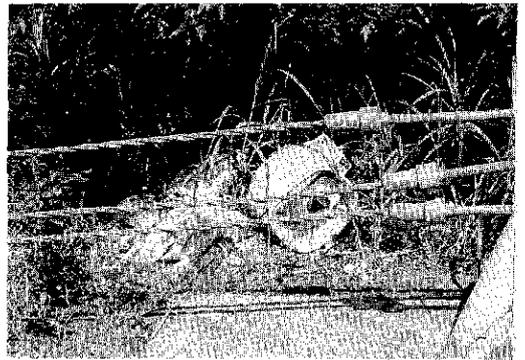
高橋 幸一 議員

上水道未設置集落の解消と、下水道を含め、今後の計画をどのように進めていくのか

南 雲町長

上水道未設置の二集落については、水源確保に問題があることや、生活用水を自然流下によって使用している家庭があるこ

県道小白倉木落線脇に不法投棄された粗大ごみ(5・6・17)



小幡農林課長①(1) 「火の用心」の横断幕や多数の立看板を立てて、注意を呼び掛けている。また、森林共済保険を活用して災害に備えている。

とから、お金のかかる水道水を使用いただけるだろうかという心配がある。これらの問題から、当面、現状維持もやむを得ないものと考えている。

また、下水道事業については、合併浄化槽で取り組むことが可能と考えられるので、平成六年度以降、十三年度までには全町に下水道が整備されるよう努めたい。

幹線町道に交通標識を設置

高橋 重議員

① 町道東山新町新田線に、交通安全のためのスピードダウンの標識設置や、無謀運転による交通事故防止を図る考えはないか

② 養豚の悪臭公害対策のため、事業者への行政指導をもっと積極的に図れないか

南 雲町長

① 標識類の整備を十分考え合わせ、今後とも重点的な警察の取り締まり、交通安全協会など交通安全関係団体の協力を得ながら、交通安全防止に努めてまいりたい。

また、防止の施設などの設置については、平成六年度から年次計画で歩道の新設を予定している。

② 現在は、変わった動きがあり、一条の光明を見出したように思う。その一つは、手養豚を構成している一農家が転業する方向で具体的な作業を進めている。町としても新規の事業の展開に向けて協力を惜しまない約束をしたところである。

その二は、BM活性水の利用ということである。これは、臭

い公害の解消に大変有効ということで、担当課では、先進地の視察をした。その結果が大変有効ではないかという印象を強くしたということから、議会の公害対策特別委員会においても、その実態を視察され、その成果を確認されたということを知っているところである。

大塚建設課長 歩道の新設は、坪山交差点から新町新田の県道まで二・二キロの区間について、年次計画で実施したい。道路の東側に設け、現道利用という形で計画している。



幹線町道東山新町新田線は交通の往来などが激しく、事故もよく見かけられます

住み良い街づくりのために

都市計画……①

昭和六十二年、千手、上野、橋地区のおおむね全域を、都市計画法などの法律に基づいて、住み良い街づくりの計画立案ができる都市計画区域に建設大臣から指定されました。

その指定を受けてから現在まで、町は区域の事態を明らかにするための現況調査、あるいは快適な生活ができるための施設の適正な配置や規模、町の将来を想定した土地の利用面などについて検討を重ね、関係する国県の機関などと相談を続けてきました。

その中でも、千手、上野、橋地区の人口の約四割あまりが住んでいる千手地区（坪山、霜条、鶴吉、伊友を除く）の人口集中地区を対象に、地域の土地を将来に渡つてどのように利用するか、一定の決まりを設けることが第一の課題となりました。そのためには用途地域の指定が必要となります。

また、第二の課題としては、この人口集中地区のまちづくりの根幹ともいえる、道路や下水道、公園など公共施設の整備計

画を明らかにすることです。

第二の課題は、市街地の開発を進めることです。整然とした住宅地の形成を行い、これを引き金とした住宅建設の促進を図らなければなりません。

この大きな課題のうち、用途地域と、道路（街路）については昨年十二月に住民説明会を開き計画を明らかにしました。地域の皆さんからご理解とご協力をいただき、今年四月から計画が施行をされる予定です。

次号から、この内容について、お知らせいたします。



住民説明会（5・12・10総合センター）

新たに主任児童委員が委嘱されました

今年1月1日付けで、川崎定則さん（朝日町）・水落キミ子さん（仁田）のお2人が、主任児童委員として厚生大臣及び県知事から委嘱されました。お2人には、これまでの民生児童委員の活動をバックアップして、子育て相談などの地域における児童や家庭の福祉を推進する人材として活動していただくこととなります。

お子さんの問題や児童の健全育成活動などについてのご相談は、身近な民生児童委員又は主任児童委員にお気軽にお寄せください。お問い合わせは、役場住民課社会福祉係へ。

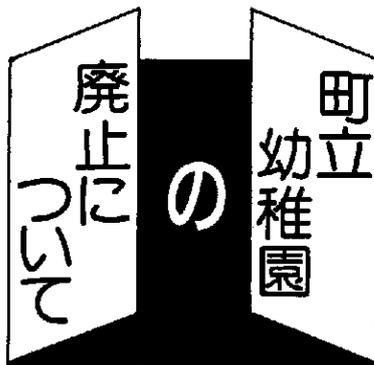


お気軽に
ご相談を!

お気軽に

結婚に関して、7人の「家庭相談員」の方々が親身になって相談に応じてくれます。自分1人、あるいは家庭の中だけで悩まずに、お気軽にご相談ください。

氏名	住所	電話番号	有線
南雲敏夫	中屋敷	68-3830	2851
蔵品芳久	霜条	68-3051	3213
滋野豊子	野口	68-2626	5212
戸田賢樹	仁田	68-2952	5062
高橋知子	赤谷	69-2103	
江口逸雄	小白倉	69-2533	
高橋優子	三領	68-2050	3792



おたのしみかいの一コマ（5・12・19）

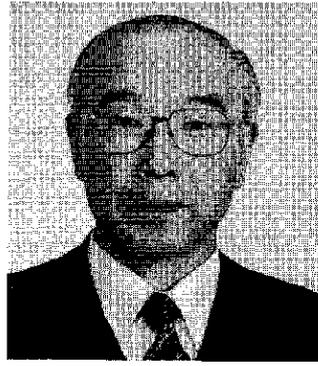
去る12月17日に開催された第8回町議会定例会において、「町立幼稚園の廃止に関する条例」が可決され、平成5年度をもって正式に廃止することに決定いたしました。

昭和41年4月に、保育園児の急増対策として設置されました町立幼稚園が、幼児数の減少、位置の偏在による不公平感、幼児教育そのもののあり方の理由から、27年間という長い歴史の幕を閉じることになりました。

町立幼稚園に対しまして、特段のご理解とご協力を賜りました関係地域の皆様方をはじめ、関係各位に対しまして、改めて心から感謝申し上げます。

志有者而事成遂

平成六年元旦



川西町長南雲春雄

※意味 志ある者は事遂に成る

とり
酉

おんおら

平成六年は戌年です。犬は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。でも、最近犬の飼い方をめぐって近隣公害が問題になっていきます。おりやきくに閉じ込めることなく、人間と行動をともにして生きてきた時代からみると、犬にとっても住みにくい世の中となりました。

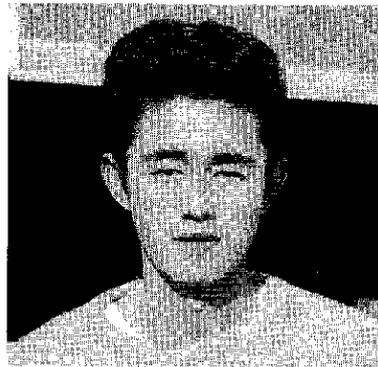
ところで、正月の遊びにつきもののカルタ、あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思えますか。本来は、「出歩けば災難に遭う」という意味です。しかし最近では、歩き回ればチャンスに会えるという解釈をする人が多いとか……。いずれにしても、今年はいいチャンスをつかみたいですね。

恒例となりました、町長と議会議長から、町民あてに新年のご挨拶をいただきました。合わせて、町では七代の戌年生まれの方々が六百二十四人おられます。全町民のおよそ七・一％にあたります。輝かしい新春にあたり、戌年生まれで一月一日生まれか、その年の一番早い日に生まれた方を紹介します。

南雲トシさん(寺尾)

大正11年1月2日生(72歳)

家族が健康で、一年過ごされたことに感謝しています。今年も健康で、一日一日が送られるよう願っています。子供が昔買ってくれた楽器を、年に何回か出してきて楽しむことがあります。趣味にできればいいですね。



川崎正子さん(新町新田)

昭和21年1月1日生(48歳)

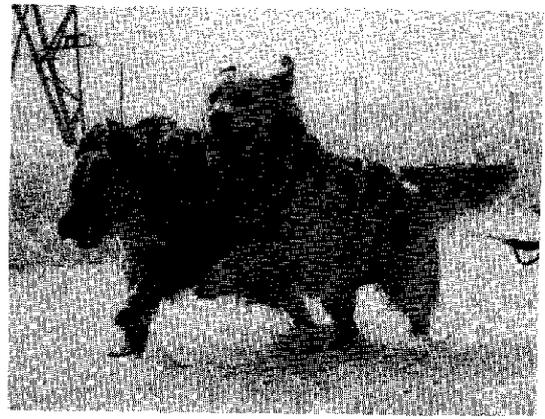
早いもので、結婚して二十五年が立ち、三人の子供も社会人になりました。やっと自分の時間が持てるようになってきたので、いろんな所に顔を出し、身に付けてみたいと思っています。災害のない年であってほしい。



佐藤真一さん(発電所通り東)

昭和45年1月7日生(24歳)

父が営む住宅設備会社で、二年前から一緒に仕事をしています。一つの現場を任せられるようになり、責任も感じていきます。去年が何をやっても中途半端だっただけに、今年はいち切ったチャレンジしていきたい。

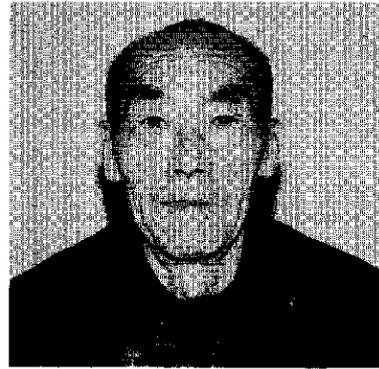


今年には僕たちの年だよ。元気一杯頑張ります

いぬ 成 たん り れい

小林 奥治さん(中仙田)
明治43年1月8日生(84歳)

書物を読むこと、テレビの時代劇を見ること、民謡を聞くことが大好きです。健康のため腹八分目にして、緑黄野菜を多く取るようにしています。毎日の生活に緊張感を持つことを心掛け、ボケを追い払っています。



佐藤 キヨさん(野口)
昭和9年1月2日生(60歳)

遠齋を迎え、詩吟、華道、茶道と、精神を打ち込める趣味がある幸せに感謝しています。これからも気持ちを若く持ち続け、明るく楽しい人生にしたいと思っています。今年が実りあるよい年でありますように。



登坂 貢さん(赤谷)
昭和33年1月29日生(36歳)

町交通指導員や、地域のいろいろな役を引き受けたせいでしょうか、例年より忙しく一年が過ぎたように思います。今年には災害や事故などもなく、豊作であってほしい。スキーマのバジテストに挑戦したいと思います。

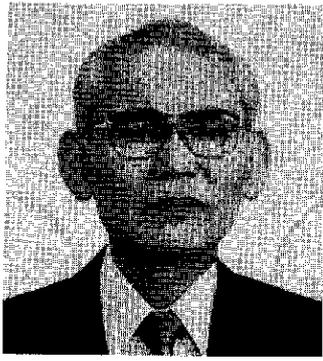


今井 拓朗さん(仁田)
昭和57年1月13日生(12歳)

一学期は、野球、ドッジボール、そろばんに頑張ったと思います。特に、野球は町の大会で優勝、そろばんは二級に合格しました。二学期にはスキーや勉強を、一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

恭 頌 新 禧

平成六年元旦



川西町議会議員長

小林 英雄



仙田村の学校問題 ⑬

岩瀬 金子 幸 作

幻だった上屋敷

松永案が示されたとき、岩瀬と大倉が中部校の位置を赤谷上屋敷にと主張したのは、昔もめた時代に戸長役場がこの場所に新設校を建てようとした歴史をふまえてのことであった。

学制の領布を契機に、相国寺「首座領」で子弟に寺小屋式教育を施していた室島にいち早く仙田校が創立され、僧恵了を師に学んでいた北部に白倉校が、また、県会議員のいたムラには田戸校が創立されて、明治中期までの仙田村は一村三校で義務教育が行われていた。

それが、村の中央である中仙田と赤岩を校区にもうひとつ独立校がほしいという声が大きくなり、村は赤谷の上屋敷に新設校を建てる方針を固めたが、耕地のつぶれることを恐れた赤谷はムラをあげて反対した。そのため、登坂善治(初代村長)らがほん走して岩瀬に赤谷校が創立(明治二十年六月)され、このとき組合立で開設されていた中仙田と高倉の私学校が村立赤

岩校の分場に収まっている。

岩瀬と大倉の反抗

童子ヶ島への統合は県の裁定でひとまず延期されたが、高等科の位置を認められなかった赤岩校区の不満は大きく、村会や県庁での議員の弱腰が追及されたりした。上屋敷案をめぐる仲違(なやま)いした赤谷は、事態が深刻になったことから岩瀬・大倉と和解して校区の対策会議に加わり、赤岩校にだけ高等科の併置が認められなかった報復措置について協議をくりかえし、三集落が中仙田校の高等科に進学させないことを改めて確認した。

ところが、中仙田に近い赤谷は後日この話と同調できなくて物分かれに終わり、通学すれば遠くなる岩瀬(八四戸)と大倉(三五戸)の父兄は、さきに松永村長が提案した青年学校の普通科を充実して該当児童を入学させ、高等科と同等の学力を身につけさせることを申し合わせて実現に向かって動く。

青年学校の普通科で

青年学校の普通科で

岩瀬と大倉は意地もあり、中仙田の高等科に負けるものかと青年学校のルートから県に頼んで専任教員の配当をうける。中仙田の高等科へ行くとはかり思っていた岩瀬と大倉の児童は、集団入学拒否というムラ決めに従うことを余儀なくされ、中仙田校に通っていた児童も高等科一年で中途退学させられて、昭和十三年の四月からともに赤岩青年学校の普通科に入学する。

普通科一・二学年を佐渡から来た宮本雅雄教員が複式で担任し、高等科の教科書を使って授業したが一年で転出、そのあとに菊土の星名保利教員が着任したがまもなく応召、後任に岩瀬の中条秀雄教員を迎えて意欲的な授業が行われる。

岩瀬の小川晃栄元区長は「中仙田校で高等科一年が終わったら退学させられ、赤岩青年学校に転校して普通科二年に編入された。学科のほかに軍事教練を受けたので兵隊に取られてから役に立ち、一選抜で模範上等兵になったのがせめてもの救いだっただか」と語っている。

同級生の仲間割

集団入学拒否という「ムラ決め」のために、岩瀬と大倉の児童は昭和十二年度の赤岩校卒業生から十五年度の卒業生までが

高等科へ進学できなかった。教育を重視する父兄の中には、こうした申し合わせを無視して中仙田校の高等科に通学させる者が毎年何人かいた。そのために仲の良かった同級生が反目し合い、ある者は故郷を離れて官費で学べる師範学校や陸海軍の学校に進学し、ムラに残って学ぶ者は人間関係が複雑になった当時を今も悲しく思いおこす。

土居知事が和解勧告

仙田村の学校問題は、童子ヶ島への統合の不発がいつまでも尾を引き、おりから発生した日中事変の拡大と併行して泥沼の抗争に陥っていく。昭和十六年の夏、ときの土居章平県知事は仙田村の学校問題がまだ收拾のつかない事態を憂慮し、村の幹部と岩瀬・大倉の代表を県庁へ呼んで和解を勧告する。

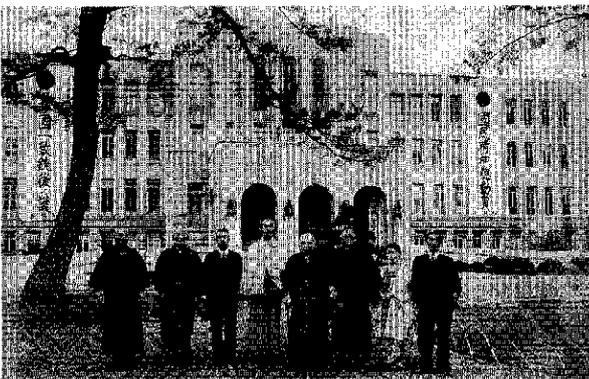
このとき土居知事は、「あなた方の気もちはわからないでもないが、御国がいま国民精神を総動員して戦っている非常時に大事な少国民の教育を犠牲にして争うなど心得違いもはなはだし。言い分はあろうが、多くの将兵が大陸で血を流している現実をわきまえ、和解して聖戦の完遂に努めるように」と諭してくださったのである。

この知事のおこぼれがあった

ことで、岩瀬と大倉の親たちは考えを改め、昭和十六年度の赤岩校卒業生から中仙田の高等科へ通学させることにし、戦局の猛烈化につれて学校問題もひとまず影を潜めたかに見えた。しかし、明治このかた争ってきた怨念は村中に陰にこもっており、昭和二十二年に公布された学校教育法(六・三制)の施行でまた一段と大きく爆発する。

写真は童子ヶ島への統合に反対して県へ陳情した人たち。

向って左から中条政治、中条石太郎、中条正福、小林誠治、中条恒吉、中条文平、婦人代表(不詳)、登坂南禅の各氏。
旧新潟県庁前で写す
(岩瀬・中条秀雄さん提供)



税について の 作文 ②

町租税教育推進懇談会長表彰

国民の願い星

—輝く未来のために—

川西中三年 星名力成

「おい、聞いたか。今度コンピュータ室ができるんだって。」
「四十八台で、自分専用のように使えるんだって。」

僕のクラスや仲間内は、こんな話で持ち切りでした。また、一年前にも、グラウンド改修工事のことをうわさしていたものでした。

毎年毎年、数千万円をかけ、僕たちが学習しやすいように生まれ変わっていく校舎。そんな新しい設備を前に少し疑問がわいたので、教務主任の先生に質問をしました。

「先生、全国でこんな設備投資しているのは、この学校だけじゃないですよね？」

「ああ、そうだよ。」

「それじゃ、全国の学校をこんなふうにするなら、日本の経済はぼろぼろでしょう。」

「全てを国のお金でやることなんてないよ。そんなことをしたら、お金がいくらあっても足りないよ。」

「それじゃ……、あつ、そうか税金だ。」

「そのとおり。」

今までは税金と聞くと、いやなひびきだと思っていた僕。でも、足元を見ると、僕はいつのまにか税金に支えられ、育ててもらっていたのでした。そんなことを思うと、税金に対する見る目が違ってきました。そして中三になった今、こんなことを思うようになりました。

税金は、よい日本国をつくるカギではないのかということ。それは、単純にお金の面もありますが、僕は、もっと大きなものがこめられていると思えてなりません。税金は、人々の生命の安全や平等な暮らし、社会秩序の維持といったような国民の願い星ではないでしょうか。その星をみんなで輝かせ、ふくらませようとして、国民一人ひとりが納税するのだと僕は思

ます。

僕達の生徒会スローガンは、「団結、自主独立」です。一人一人の力が小さくとも、四百人の力が合わせれば、素晴らしい力を発揮するということを、生徒会活動を通じて実感しています。何よりも、「団結」が大切だと思います。

税金は大人が払うものと思っ
ていましたが、今では、僕達も消費税を通じて、国のために役立つ一人となっていることに、誇りさえ感じるようになりました。消費税は、私達の老後の生活を保障する貯金なのです。

僕達は、日本全国、国民から、納税された税金によって住み良い学校生活、快適な地域生活を送ってこれました。本当に感謝しています。あと五年たつと僕も成人です。その時は、住み良い国づくりのために、一生懸命働き、気持ち良く納税をしたいと思っています。そして、どんな国民の願い星を、明るくふくらませようと思います。

—輝く未来のために—

絵画を寄贈いただきました

このたび、ファミリール川西（老人デイサービスセンター）に、本間薬品㈱取締役会長本間

美雄さんから、「涼む」と画題のついた油絵（十号）が寄贈されました。



これは、昭和六十三年、同社の創業百二十周年の節目として本間さんご自身が個展を開催し、その作品五十一点を老人福祉施設に贈呈されたことを契機に、今回も社会福祉施設に寄贈したいのとことから、県社会福祉協議会を通じて、町に寄贈されたものです。

平成6年度 農業標準賃金

男子	7,000円
女子	6,600円
(1日あたり)	

農業委員会では、今年4月1日から適用の農業標準賃金を決めました。

これはあくまでも標準賃金です。作業の内容などにより、頼む人、頼まれる人がお互いに納得のうえで、対応してください。

図書室 だより

女性のための体験的人生論案内

○老いの楽しみ 沢村貞子
女優と主婦の忙しい暮らしに追われながらも、思いついたままを書いたエッセイ。「寄り添って老後」もどうぞ。

○男時間では生きられない 情報出版局 本岡典子
ごく普通の働く女性の姿二編を紹介。二年の歳月をかけて追ったルポルタージュ。働く女性の苦悩と選択を描く。

○女六十歳からの心ゆたかな生き方 講談社 塩月弥栄子
六十歳を過ぎても男女関係は可能。幸せは、「ただいま、そ

の時点」が幸せであると感ずるところにあると語る。

○心にちよつと心呼吸

青春出版社 加賀美幸子
NHKアナウンサー試験に挑んだころから現在に至る体験的人生論。仕事を通して「自分の言葉」で、生き生きと魅力あるものにしていく、限らない言葉への挑戦を語る。

○もう「女」はやってられない

講談社 田嶋陽子
大学で女性学を講義する一方、女性の視点から文学作品を読みなおし、男社会を裸にする。わかりやすいフェミニズムを説く。

○女は賢く妻は可愛く

海竜社 野村沙知代
野球ひとすじの夫と共に二十年。ヤクルト、野村監督夫人が綴る生活音痴の亭主と、年上女房の体験的夫婦論。

善意

(敬称略)

社会福祉に
増田 勝司(長岡市) 10万円
カーブミラー 10基
新潟川西農業協同組合

休日救急医

1月15日 至誠堂医院(西浦町) ☎ 52-3276
16日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
23日 山口医院(下条) ☎ 55-2003
30日 山口医院(袋町) ☎ 52-2174
2月3日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957
11日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711

かわにし 俳壇

太田白南風選

南天の実の房多し時雨降る

綾瀬市 野沢ますえ

除雪車の赤い灯目立つ雪の朝

野口 村越 幸

陋屋に越三山の初日かな

上野 内山 寛平

橙もせて大きな鏡餅

大倉 中条 石平

六地藏毛系の帽子夫々に

寺尾 白井すみい

窓明り茜色して年明けぬ

仁田 小幡しん女

重箱の隅に角立てくわいの芽

小白倉 江口みゆき

雪降れば広き牧場やスキー客

野口 五下嵐トラ

師走人手提荷物で足早やに

山野田 藤田ひろ志

つつましき小袖をゆらし履蘇を酌む

足立区 駒形 頼太

老妻の落つき慣れし初霧

練馬区 須藤 遊人

おごそかに闇のおとすれ除夜の鐘

足立区 浦井ハル子

懐しく賀状に浮かぶ友の顔

浦和市 登坂 博史

雪降りてようやく冬と思いきり

木落 田口 梅野

大寒の薄日さしたる市終い

元町 金子 鉄平

干大根漬けて冬陽の暮れ早し

八王子市 松浦 サク

クリスマス街路の木々の灯かな

厚木市 川崎 保一

大禰露きらめきて初詣

上野 入沢 はや

注連飾心新たに春を待つ

原田 大平 きみ

ふんわりと雪風情あり実南天

仁田 戸田 貞

初暦めくる清しき事始め

野口 野沢 静江

酔ふほどに体も温み除夜の鐘

木落 丸山 詩朗

老農の肩まで沈め袖子湯かな

新町 若山 向山

八海に拍手を打つ初景色

上町 高橋 願似

心地良く浸ればゆず湯あふれけり

志木市 山田十久二

隔てなく野山を染めて初詣

小白倉 田中 優美

休診の札の奥なる福寿草

野口 野沢 寅生

書き初めの墨たつぷりと筆おろす

岩瀬 登坂伊智子

雷のひとつはげしき雪おこし

中仙田 高野仙蒼子

初暦孫の予定日印しけり

野口 村越 由喜

青畳窓の形の初日かな

伊勢原市 金子 桂吉

年玉の袋の小さくふくらみぬ

高倉 齊木 和人

屠蘇祝う傘寿の盃を重ねつ

霜条 大海 白涛

電柱の半分白く吹雪中

元町 上村 トミ

交換機切り替え工事のため 30分ほど通話ができません

NTT十日町支店では、お客様がより便利に利用できるよう、最新型の交換機に切り替えることになりました。

この切り替え工事によって、

国際ダイヤル通話など、新たなサービスが利用できます。

そのため、次のとおり町内全域が三十分ほど通話できなくなりますので、ご理解・ご協力を

お願いいたします。

また、一九番緊急通報もできませんので注意してください。

日時

1月19日(水)

午前0時から

30分間程度



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

引間 千尋 春男 三女 坪山 規子

高橋 拓斗 雅明 長男 中仙田 裕子

数藤 瑞紀 和秀 長女 沖立 久美子

市川 雄介 伸 長男 中仙田 民子

中条 文音 重文 長女 木島 恵子

高橋 諒 敦 長男 赤谷 さゆり

内山 弘章 直樹 長男 新町新田 恵美子

たかさご—ご円満に

(山口 悟 上野から 大久保 克美 野口)

(高橋 久也 中仙田 涌井 由香 津南町から)

昇天—ごめい福を祈る

小林 邦男 48(本人) 中仙田 柄沢 リツ 72(文) 中央町

清水 トミ 72(寛治) 中央町 相崎伊勢太郎 75(本人) 田中町

江口 斉 80(本人) 小白倉 北堀 亀雄 84(英一) 小白倉

佐藤 タケ 89(鎮勇) 伊友 齋木 クラ 90(政隆) 山野田

田中 ヤウ 91(茂) 小白倉 (12月1日~31日届け出分)

第23回 町民柔道大会

結果

十二月十二日 於総合体育館 柔道場(敬称略 一位のみ)

小学生低学年(1~2年) 一位 高橋 保弘

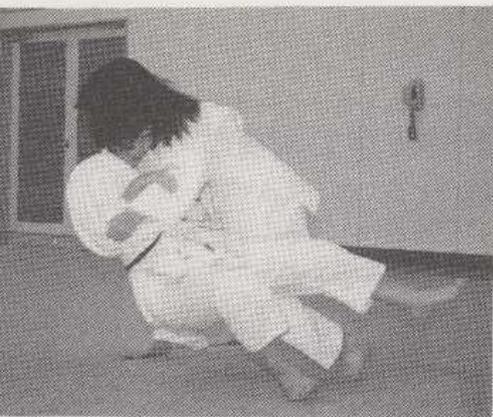
小学生3年生 一位 高橋 直隆

小学生4年生 一位 保坂 大空

小学生高学年(5~6年) 一位 貴田 裕介

中学生男子 一位 高橋 徹

中学生女子 一位 小林 理恵



今回は、中学生の男・女の部も設けられました

ちいさな展覧会



2年 小幡佑佳さん



3年 蔵品和臣君



3年 北村華奈さん



3年 星名 茂君



3年 野沢裕子さん



3年 高野五月さん



3年 佐藤有子さん

(2月号は千手小学校です)